

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2020.3) 令和元年度:72.

自発的継続学習を実施している中堅看護師が学び続けることのできる要因

佐川 雄太, 升田 由美子

自発的継続学習を実施している中堅看護師が学び続けることのできる要因

1 旭川医科大学病院 2 旭川医科大学医学部看護学講座

○佐川雄太¹ 升田由美子²

1.目的

中堅看護師が継続学習を行うには様々な障害があるという調査結果がある一方で、悩みや障害が多いと言われている中でも、自発的に学習を続ける中堅看護師は存在する。そこで、自発的継続学習を実施している中堅看護師が、学び続けることのできる要因を明らかにする。

2.方法

対象は200床以上の複数の診療科を有するB市内の病院に勤務し、自発的継続学習を行っている経験年数4年以上の看護師10名(管理職を除く)とした。協力者の基本情報、自己効力感、自尊感情に関する質問紙に回答を依頼し、後日半構成的面接を実施した。データ分析は、インタビュー内容を逐語録に起こし、Berelson, Bを参考にした舟島による内容分析を行った。本研究は旭川医科大学倫理委員会の承認を得て実施した。

3.結果

一般性自己効力感尺度の平均値は5.5点(SD 3.6)、得点評価基準によると、高い傾向1名、普通2名、低い傾向3名、非常に低い4名であった。自尊感情尺度の平均値は31.1点(SD 2.3)であった。研究協力者10名の発言は592の文脈単位、882の記録単位に分割した。研究目的に合わないものを除外し379の記録単位を分析対象とした。意味内容の類似性に基づき分類した結果、中堅看護師が学び続けることのできる要因を表す【1. 思い描く理想・今後を見据えた目標と行動】[80記録単位:21.1%]【2. 看護師としての自覚、今の役割・立場からの責任】[57記録単位:15.0%]【3. 周囲の人たちからの刺激・影響】[51記録単位:13.5%]【4. 自分の好きなこと・興味のあること】[36記録単位:9.5%]【5. 学習をサポートしてくれる人・学習しやすい物理的な環境】[27記録単位:7.1%]【6. 学習したことが報われた体験】[19記録単位:5.0%]【7. 今の自分に足りないことを自覚する】[18記録単位:4.7%]【8. 患者へ提供したい看護】[16記録単位:4.2%]【9. 日々の生活・仕事を学習に繋げるという考え】[15記録単位:4.0%]【10.自分に適した学習方法】[13記録単位:3.4%]【11. 過去の状況・環境に対する不服や後悔】[12記録単位:3.2%]【12. 家族への思い】[11記録単位:2.9%]【13. ワークライフバランスを保つこと】[10記録単位:2.6%]【14. 将来への不安】[9記録単位:2.4%]【15. 楽観的な考え方】[5記録単位:1.3%]の15カテゴリが形成された。Scottの式を用いたカテゴリ一致率は78.9%と68.7%であった。

4.考察

【1】【2】【4】は目標を定めるきっかけを表し、定めた目標に動機づけられ学習を継続している事が示唆された。【3】は身近な者が学び続ける姿勢が刺激となり、自発的継続学習を行う動機への影響が示唆された。自尊感情が高めであったのは【6】や周囲からの承認の影響が考えられ、半数以上の自己効力感が低い傾向にあったのは、目標の高さや自分への厳しい評価のためと考える。【5】【13】【15】は、学び続ける中堅看護師の支えを表し、学習しやすい職場環境は自発的継続学習を行う上で必要であると考えられる。